

様式第 1 - 3 別紙

宿泊事業者等団体

名称	指宿インバウンド対策協議会			
住所	〒 8 9 1 - 0 4 9 7 鹿児島県指宿市十町 2 4 2 4 番地			
代表者氏名	山元 成之 (指宿市産業振興部観光課長)			
連絡先	0 9 9 3 - 2 2 - 2 1 1 1			
構成員	①指宿白水館 ②指宿フェニックスホテル ③指宿海上ホテル ④指宿ロイヤルホテル ⑤指宿ベイヒルズHOTEL & SPA (構成員数：5, 補助対象者数：5)			
団体事業	具体的な内容			
	実施時期			
	必要な資金の額及びその調達方法			
個別事業	具体的な内容	(1)Wi-Fi整備 3件, (3)サイトの多言語化 1件 (10)その他(パスポートリーダー設置) 1件		
	実施時期	平成28年11月25日~平成28年12月26日		
	必要な資金の額及びその調達方法	補助対象経費合計 7,439,700円 補助金合計 3,078,000円		
全体稼働率の目標及び実績値		<事業開始前>	<目標>	<実績値>
	第1四半期	(%) 53.1	(%) 42.6	(%) 51.1
	第2四半期	(%) 51.6	(%) 49.0	(%) 45.7
	第3四半期	(%) 54.7	(%) 57.5	(%) 54.0
	第4四半期	(%) 55.8	(%) 57.9	(%) 61.3

<p>目標を達成した理由 (達成できなかった場合はその理由)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・本市では、熊本地震の影響により、約 35,000 人による宿泊キャンセルがあり、砂むし温泉や池田湖をはじめとした市内の観光地は、閑散としており、これまで経験したことのない状況となった。 ・そこで、本市では、まちの活気を取り戻すことと、熊本地震の被災地を支援することの2つを目的として、平成28年度において、『九州を元気に!熊本地震復興応援商品券付き宿泊プラン』を実施したところである。 ・また、九州ふっこう割(九州観光支援交付金)制度が創設されたことより、平成28年度第2四半期以降の大幅な落ち込みは回避できたと思われるが、地震発生以降の観光客入込状況の大幅な回復には繋がらなかった。 ・そのような中、NHK大河ドラマ「西郷どん」の放映が決定し、主人公である西郷隆盛にゆかりの地を有する本市では、千載一遇の機会と捉え、積極的なPR活動を行いながら、西郷隆盛ゆかりの地を新たな観光地としてのブラッシュアップを図るべく、ハード及びソフトの両面から環境整備を行った結果、国内旅客もドラマ放映に併せて僅かではあるが増加しつつある。 			
<p>合計外客宿泊者数の目標及び実績値</p>		<事業開始前>	<目標>	<実績値>
<p>第1四半期</p>	(人) 5,629	(人) 5,157	(人) 8,404	(人) 8,404
<p>第2四半期</p>	(人) 4,622	(人) 5,185	(人) 8,339	(人) 8,339
<p>第3四半期</p>	(人) 7,810	(人) 8,720	(人) 9,778	(人) 9,778
<p>第4四半期</p>	(人) 6,885	(人) 7,832	(人) 11,883	(人) 11,883
<p>目標を達成した理由 (達成できなかった場合はその理由)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・香港、台湾及びシンガポールなどアジア圏から観光入込客が増加している。 ・これは、平成28年4月14日以降に熊本県と大分県で相次いで発生した熊本地震以降、観光地としての安全性を内外に広くPRした結果、海外エージェントからの安定的な送客が図られているものと思われる。 ・また、北部九州に入国した外国人旅行者を本市まで誘導するため、平成27年度から「訪日外国人旅行商品バス助成事業」を実施しているが、同事業の認知度も高まり、平成29年度現在では、予算を超える程の問い合わせが寄せられているなど、効果が現れてきつつある。 			
<p>その他事業評価に関する事項及び当該事業評価を踏まえた次の一年間における事業の改善策</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・現在、NHK大河ドラマ「西郷どん」が放映され、観光客の入込みも増加しつつあるが、同ドラマ放映終了後の反動減対策が喫緊の課題となっている。 ・環境省が訪日外国人旅行者を国立公園内へ誘導させるため、「国立公園満喫プロジェクト」の取り組みを行っているが、本市も霧島錦江湾国立公園区域内であることから、同プロジェクトの取り組みと連携しながら、更なるインバウンド誘客を推進する。 ・2020年鹿児島国体開催に伴い、新たな観光地としての魅力づくりをハード及びソフトの両面からの環境整備を推進する。 			

様式第 1 - 3 別紙

宿泊事業者等団体

名称	宮崎県ホテル旅館生活衛生同業組合			
住所	宮崎県宮崎市錦町1丁目10号 宮崎グリーンスフィア壱番館7階			
代表者氏名	甲 斐 正 樹			
連絡先	0 9 8 5 - 2 4 - 4 7 3 0			
構成員	① 日南第一ホテル ② 青島グランドホテル ③ 高島荘別館 ④ 青島サンクマール ⑤ ジェイズカントリークラブ小林コース ⑥ 宮崎県ホテル旅館生活衛生同業組合			
団体事業	具体的な内容			
	実施時期			
	必要な資金の額及びその調達方法			
個別事業	具体的な内容	案内表示多言語化 2件、Wi-Fi設備 1件トイレの洋式化 1件 タブレット端末の導入 2件 客室の和様室化 1件 国際放送設備 1件		
	実施時期	平成28年 12月 15日 ~ 平成28年 12月 30日		
	必要な資金の額及びその調達方法	補助対象経費合計 6,661,227円 補助金合計 3,101,000円		
全体稼働率の目標及び実績値		<事業開始前>	<目標>	<実績値>
	第1四半期 (4~6月)	48.1 (%)	47.1 (%)	45.0 (%)
	第2四半期 (7~9月)	47.3 (%)	49.4 (%)	49.7 (%)
	第3四半期 (10~12月)	49.1 (%)	51.7 (%)	57.4 (%)
	第4四半期 (1~3月)	62.1 (%)	64.7 (%)	(%)

<p>目標を達成した理由 (達成できなかった場合はその理由)</p>	<p>前半、一昨年、熊本地震の関係で、国内はもとより、国の交付金が6月以降、九州ふっこう割の名の基、各種宿泊者に対する補助金制度が推進され、夏休みを中心とする、宿泊者が多かった。第3四半期は、目標値をクリアーすることが出来たが、もともと海外客の受け入れ数が低い施設で有ったため、平成29年度の目標を上回る事が出来なかった。韓国からの定期便を利用した、ゴルフ客(宮崎市内は九州でも雪が降らなく、安定した気候に恵まれている)もアジアナ航空が、12月～3月に定期便を週2便増便、また、宮崎では初めての格安航空イースターの12月～3月就航に人気があり、いずれも搭乗率もよく、増客の要因として今後期待がもてる。当然ながら、施設内のwi-fiの設置、様式便器、タブレットでの通訳開始など、海外のお客様に提供できる素材に恵まれたことを、今後生かしていくように努力したい。</p>			
<p>合計外客宿泊者数の目標及び実績値</p>		<p><事業開始前></p>	<p><目標></p>	<p><実績値></p>
<p>第1四半期 (4～6月)</p>	<p>585 (人)</p>	<p>905 (人)</p>	<p>893 (人)</p>	
<p>第2四半期 (7～9月)</p>	<p>991 (人)</p>	<p>1,350 (人)</p>	<p>1,848 (人)</p>	
<p>第3四半期 (10～12月)</p>	<p>1,364 (人)</p>	<p>1,622 (人)</p>	<p>1,261 (人)</p>	
<p>第4四半期 (1～3月)</p>	<p>1,030 (人)</p>	<p>1,332 (人)</p>	<p>(人)</p>	
<p>目標を達成した理由 (達成できなかった場合はその理由)</p>	<p>稼働率達成でも列記した通り、一昨年熊本地震を受け、国の交付金が割り当てられ、集客に繋がっていたが、本年度は、交付金での集客PRもなかったため、宿泊人員とも減少した。前半の宿泊人員は伸び悩んだが、夏休みを中心とする集客は目標に達成した。集客につながった。 しかしながら、問い合わせの段階で、WI-FIの完備など、海外のお客様に設備の充実など、PR出来る素材が提供できることは、今後の集客PRに大きく貢献するものと思われる。 夏休みを中心とする第2四半期は、2名利用のツアー客が多く受注したため、宿泊人員は予想を大きくアップすることが出来た。</p>			
<p>その他事業評価に関する事項及び当該事業評価を踏まえた次の一年間における事業の改善策</p>	<p>外国人誘客の為の、スタッフの意識向上、日本ならではのサービスの提供、日々、外国人と触れ合うことにより、異文化の修得、日本文化の提供に力を入れることが大切である。 設備の充実を基に、積極的に情報発信を行い集客に繋げる。</p>			

様式第 1 - 3 別紙

宿泊事業者等団体

名称	屋久島ホテル旅館組合インバウンド協議会			
住所	〒891-4205 鹿児島県熊毛郡屋久島町宮之浦2330-1			
代表者氏名	田代 貴久			
連絡先	0997-42-0018			
構成員	田代別館、屋久島グリーンホテル、ecohotel SORA、 民宿やくすぎ荘、屋久島サウスビレッジ (構成員5者 内補助対象事業者4者)			
団体事業	具体的な内容			
	実施時期			
	必要な資金の額及びその調達方法			
個別事業	具体的な内容	(1) Wi-Fi整備 4件 (2) トイレの洋式化 1件		
	実施時期	平成28年12月1日～平成28年12月18日		
	必要な資金の額及びその調達方法	補助対象経費合計 4,050,000円 補助金合計 1,897,000円		
全体稼働率の目標及び実績値		<事業開始前>	<目標>	<実績値>
	第1四半期	54.6 (%)	55.0 (%)	61.1 (%)
	第2四半期	56.7 (%)	62.0 (%)	74.1 (%)
	第3四半期	46.0 (%)	55.0 (%)	61.3 (%)
	第4四半期	40.4 (%)	47.0 (%)	46.9 (%)
目標を達成した理由 (達成できなかった場合はその理由)	概ね目標を達成できた。特に第1四半期はインバウンド客の寄与するところは大きかった。又、屋久島の自然などがテレビなどで取り上げられることが多くなったことも、理由と考えられる。			

合計外客宿泊者数の目標及び実績値		<事業開始前>	<目標>	<実績値>
	第1四半期	600 (人)	650 (人)	1770 (人)
	第2四半期	1177 (人)	1300 (人)	851 (人)
	第3四半期	947 (人)	1050 (人)	1129 (人)
	第4四半期	818 (人)	950 (人)	699 (人)
目標を達成した理由 (達成できなかった場合はその理由)	<p>第1四半期の大幅な目標達成は、この時期屋久島で中国の大規模な映画撮影隊が入り込んだことが大きい。それ以外は第3四半期でなんとか目標達成しているが、全体的に目標達成とは言い難い。第2四半期は国内客が屋久島に戻ってきて外客を取る余裕がなかったと考えられる。しかしオフ期になる第4四半期の大幅な未達は外客の来島に陰りが見えていると思われ、早期の対策が必要である。</p>			
その他事業評価に関する事項及び当該事業評価を踏まえた次の一年間における事業の改善策	<p>インバウンド、国内客問わずWi-Fiが客室で利用できる事がお客様に喜ばれている。しかしながらADSLサービスしか使えない事情で通信速度の不満もかなりある。また、客室のトイレが和式のため、外客に使えなかった部屋を、洋式トイレへ変えたために、外客へ提供できる用になった事は外客獲得のためには優位になっている。当地域ではかなり古い宿泊施設も多く、洋式トイレへ変更したいと希望する施設もまだまだあり、この事業の、再開を望む。</p>			

様式第 1 - 3 別紙

宿泊事業者等団体

名称	沖縄県ホテル旅館生活衛生同業組合			
住所	〒900-0035 沖縄県那覇市通堂町2-1 那覇埠頭船客待合所1			
代表者氏名	理事長 宮 里 一 郎			
連絡先	098-861-4166			
構成員	<p>構成員（組合員）277者—別紙「組合員名簿」参照 内補助対象事業者5者</p> <p>(1) 南西観光ホテル (2) 琉球サンロイヤルホテル (3) 那覇セントラルホテル (4) ホテルサンパレス球陽館 (5) ホテルムーンビーチ</p> <p>構成員（組合員）が沖縄全県（離島も含む）を網羅しているため全構成員に同じ情報を提供し、インバウンド受け入れに積極的であり、なおかつ今回の支援事業の趣旨を理解し責任をもって取り組む事業者5者を選考し補助対象事業者とした。</p>			
個別事業	具体的な内容	(1)Wi-Fi整備 3件 (2)トイレの洋式化 1件 (5)館内及び客室内の案内表示の多言語化 1件		
	実施時期	平成28年11月16日～平成28年12月20日		
	必要な資金の額及びその調達方法	補助対象経費合計 10,264,000円 補助金合計 3,881,000円		
全体稼働率の目標及び実績値		<事業開始前> (H27年度)	<目標> (H29年度)	<実績値> (H29年度)
	第1四半期	77.1 (%)	83.9 (%)	74.5 (%)
	第2四半期	89.0 (%)	91.0 (%)	83.1 (%)
	第3四半期	79.1 (%)	84.0 (%)	73.6 (%)
	第4四半期	79.6 (%)	84.6 (%)	79.7 (%)

<p>達成できなかった場合はその理由</p>	<p>29年度の沖縄県の観光入域客数は、現時点で、目標としている950万人を達成する事は確実と言われているが、28年度同様に多人数の団体客よりは個人客や小グループになり、入域客数を伸ばしている要因として、宿泊を必要としないクルーズ船観光客の数字であることから、全体の稼働率を目標達成するまでにはいたらなかった。</p>			
<p>合計外客宿泊者数の目標及び実績値</p>		<p><事業開始前></p>	<p><目標> (H29年度)</p>	<p><実績値> (H29年度)</p>
	<p>第1四半期</p>	<p>19,837 (人)</p>	<p>24,916 (人)</p>	<p>24,991 (人)</p>
	<p>第2四半期</p>	<p>16,456 (人)</p>	<p>22,399 (人)</p>	<p>23,862 (人)</p>
	<p>第3四半期</p>	<p>14,602 (人)</p>	<p>20,996 (人)</p>	<p>20,782 (人)</p>
	<p>第4四半期</p>	<p>14,938 (人)</p>	<p>21,409 (人)</p>	<p>24,453 (人)</p>
<p>目標を達成した理由</p>	<p>第3四半期は目標値を若干達成できなかったものの、28年度実績値は大幅にクリアしている。年度全体として目標値、前年値を大方達成できたのは、外国新規路線の就航や増便、機材の大型化、LCCの就航などに支えられたことがあげられる。また韓国からの観光客には、全国でもっとも早い開花の桜や地元と比較した沖縄の温暖地が人気であったこと、中国本土では3年マルチビザ経済要件緩和による潜在需要の増加、香港では飲食店等で沖縄フェアが開催され、メディアでの情報発信による沖縄への関心の高まりも外客をのばせた。</p>			
<p>その他事業評価に関する事項及び当該事業評価を踏まえた次の一年間における事業の改善策</p>	<p>今後沖縄では2020年空港第二滑走路の運用により空路の処理能力の拡大と、海路では概ね10年以内に第2、第3のバース整備が議論・検討がされていること、石垣港のクルーズ船20万トン級を対応するための整備計画の変更など、今後も外客を受け入れるための明るい話題が見えている。 本受入環境整備補助金で施設が整備され、観光客の満足度が高まることで、従業員の意識や外客を受け入れる体制をさらに強化し、選ばれる観光地となるべく、施設側のハード・ソフト両面の質を上げる努力が必要である。</p>			